

当初設計

2025年度

道三川・7-1

福山市 光南町一丁目及び御門町一丁目 地内

河川改修工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計		
	工事延長	L=179. 6m	
	コンクリート舗装工	A=339m2	
	ブロック舗装工	A=18m2	
	付属物工	N=1箇所	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、河川改修工事（道三川・7-1）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和6年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 施工承認図の作成

- ・受注者は、受注後、設計図書に基づき現地を照査し、施工承認図を作成し監督員に提出すること。

第5節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第6節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第7節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章 材料

第1節 コンクリートの配合指定

- ・鉄筋コンクリート（呼び強度21及び24）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

第3章 施工条件

第1節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第2節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第3節 熱中症対策

- ・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- 1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13 日間、年末年始6 日間（12月29 日～1月3 日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- 2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- 3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
- 4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
- 5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
- 6 積算方法は次のとおりとする。
 - (1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値（％）＝真夏日率×1.2
 - (2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- 7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
- 8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第4節 建設副産物について

(1) 工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。

1 建設廃棄物処理計画書

- ・廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）

- ・廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあっては、それを示す書類を含む）

- ・運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの

- ・各処分場の現地確認写真

- ・建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し

2 再生資源利用計画書

3 再生資源利用促進計画書

(2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。

1 再生資源利用実施書

2 再生資源利用促進実施書

3 建設廃棄物処理実施書

- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し

（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

- ・収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

第5節 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

- ・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、監督員と受注者が協議するものとする。

- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

- ・実施伝票は原本を提出すること。

第6節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- ・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。

- ・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。

- ・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。

- ・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基き許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。

- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

第7節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

- ・令和6年8月広島県土木工事共通仕様書で使用を義務づけている排出ガス対策型建設機械においては、第三次基準以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

第2節 福山市週休2日適用工事について

本工事は、福山市週休2日適用工事の実施について対象外とします。

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-07.07.01(0)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	14 河川維持工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
河川改修					Y1G02 レベル1
土工	1	式			Y1G0203 レベル2
掘削工	1	式			Y1G020301 レベル3
掘削 【土質,施工方法,押土の有無】 【障害の有無,施工数量】	1	式			Y1G02030101 レベル4
掘削 土砂 現場制約あり		m3			SPK24040001 00
	30	m3			単第0 -0001 表
人力運搬（運搬～取卸し） 換算距離80m以下(60m超)					SPK24040023 00
	30	m3			単第0 -0002 表
残土処理工					Y1G020310 レベル3
	1	式			
土砂等運搬 【土質】		m3			Y1G02031002 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 現場制約あり 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離6.0km以下(4.5km超)	30	m3			SPK24040002 00 単第0 -0003 表
残土等処分		m3			Y1G02031003レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
投棄料	30	m3			T9003 00
舗装工	1	式			Y1G0204 レベル2
コンクリート舗装工	1	式			Y1E020412 レベル3
コンクリート舗装 【Co規格,Co規格,舗装厚】		m2			Y1E02041207レベル4
コンクリート舗装 $\sigma_{ck}=18N/mm^2$ $t=10cm$	339	m2			V1000 00 単第0 -0004 表
ブロック舗装工	1	式			Y1E020416 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
インターロッキングブロック舗装 【ブロック規格,敷材種類】 【敷材厚,施工規模】		m2			Y1E02041605レベル4
インターロッキングブロック工(設置) 直線配置 ブロック厚6cm 標準品 [規]100m2未満	18	m2			SS000115 00 単第0 -0006 表
付属施設工					Y1G0211 レベル2
	1	式			
付属物工					Y1G021102 レベル3
	1	式			
照明設備					Y4900 レベル4
		基			
灯具交換					V2000 00
	1	箇所			単第0 -0007 表
構造物撤去工					Y1G0228 レベル2
	1	式			
構造物取壊し工					Y1G022806 レベル3
	1	式			
コンクリート構造物取壊し 【構造物区分,工法区分】		m3			Y1G02280601レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
インターロッキングブロック工(撤去取壊し) とりこわし [規]100m2未満	18	m2			SS000119 00 単第0 -0010 表
運搬処理工	1	式			Y1G022816 レベル3
殻運搬 【殻種別】		m3			Y1G02281601 レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離8.0km以下(6.5km超)	1	m3			SPK24040151 00 単第0 -0011 表
殻処分 【殻種別】		m3			Y1G02281602 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート塊受入費 再生工場搬入	3	t			T9005 00
仮設工	1	式			Y1G0230 レベル2
交通管理工	1	式			Y1G023021 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員					Y1G02302101レベル4
		人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	32	人			
* * 直接工事費 * *					
#0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費					
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事原価 * *					

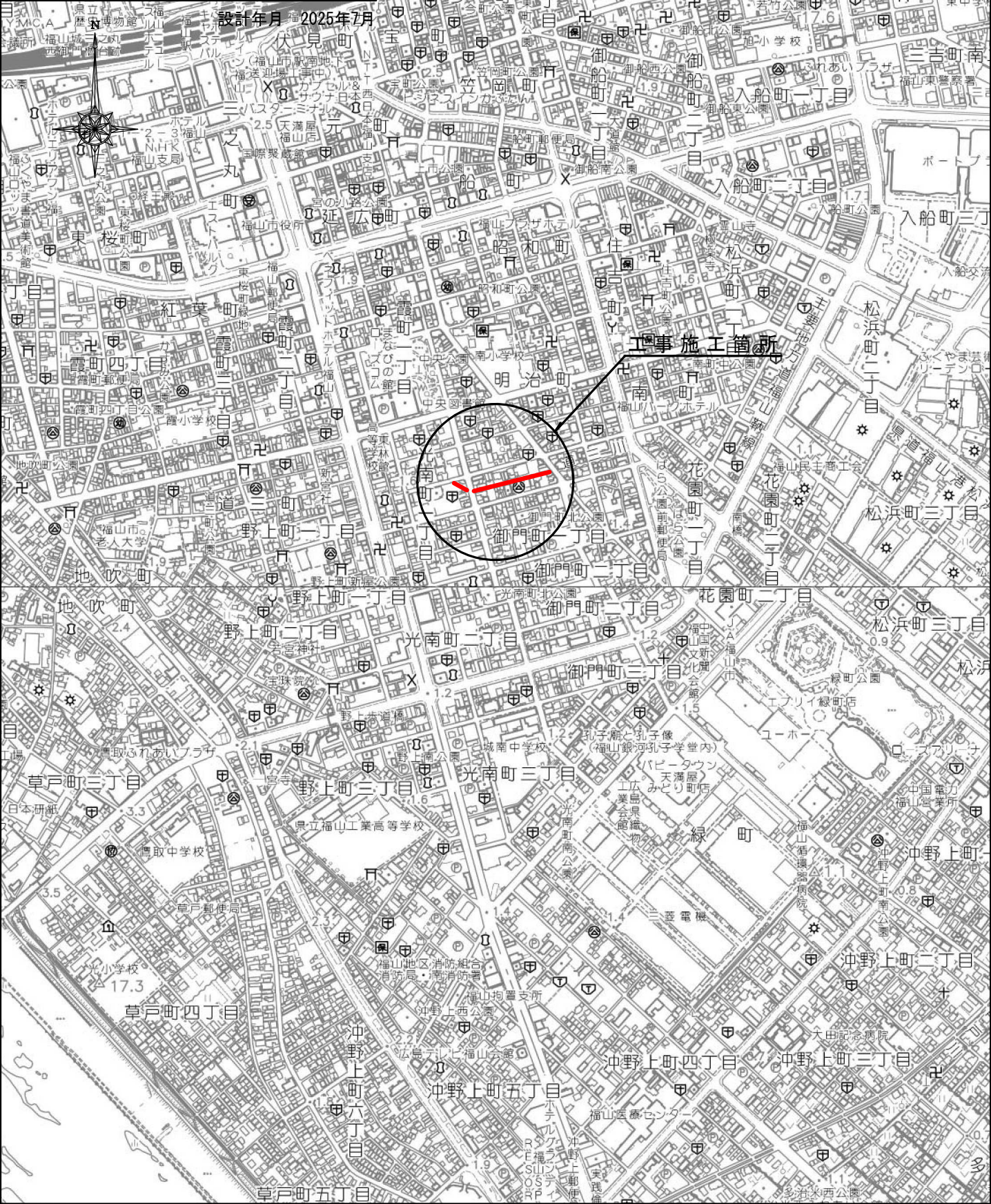
本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					
* * 消費税相当額 * * 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事費計 * *					
* * 契約保証費計 * *					

図面番号	1/3	縮 尺	1:10000
工 種	河川改修工事		
種 別	位置図	番号	1/1
路 線 名	道三川・7-1		
工事箇所	福山市光南町一丁目及び御門町一丁目地内		

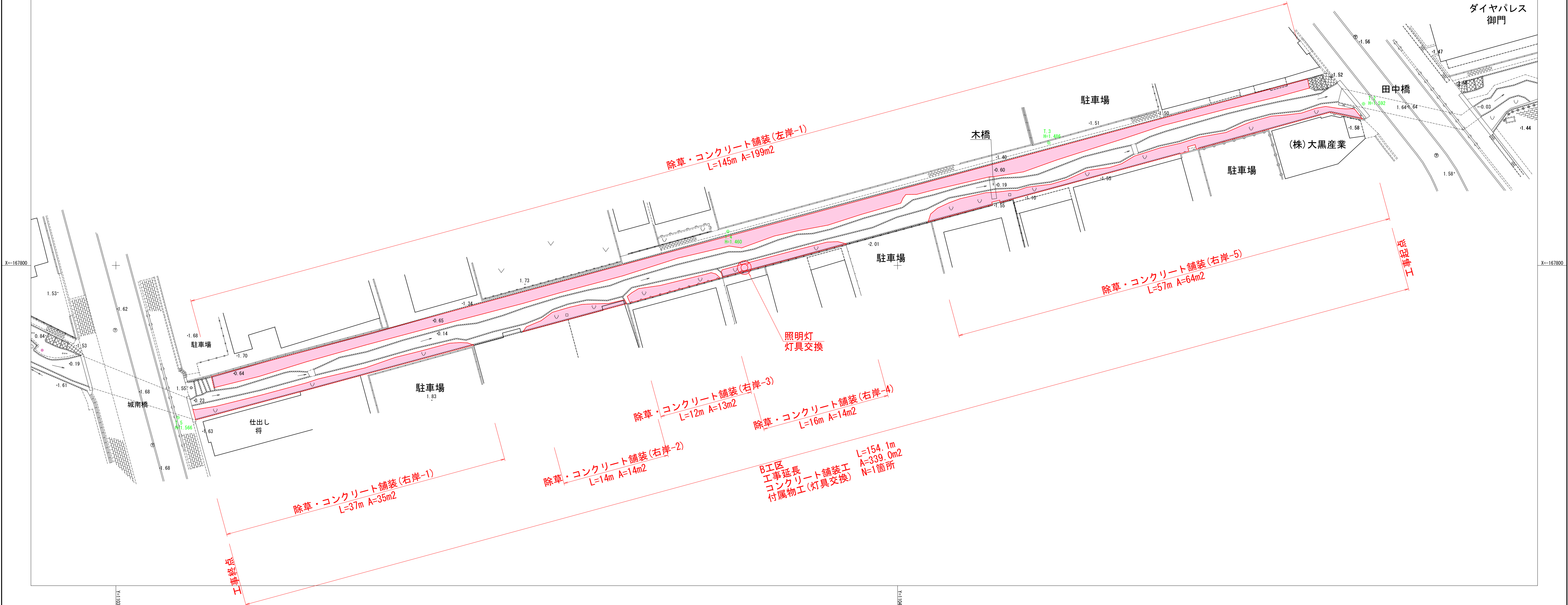
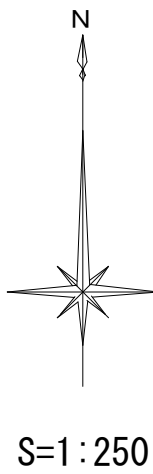
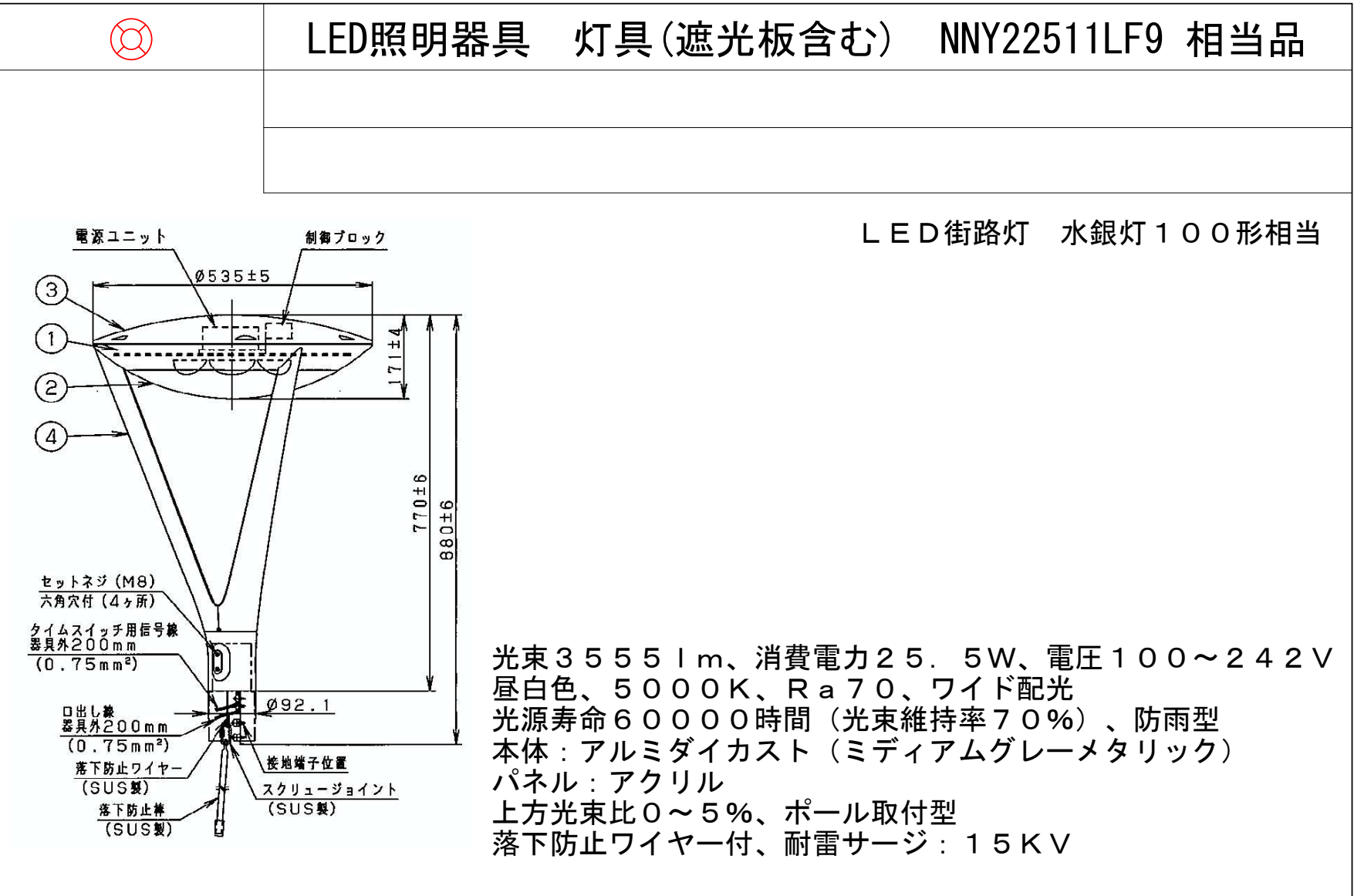
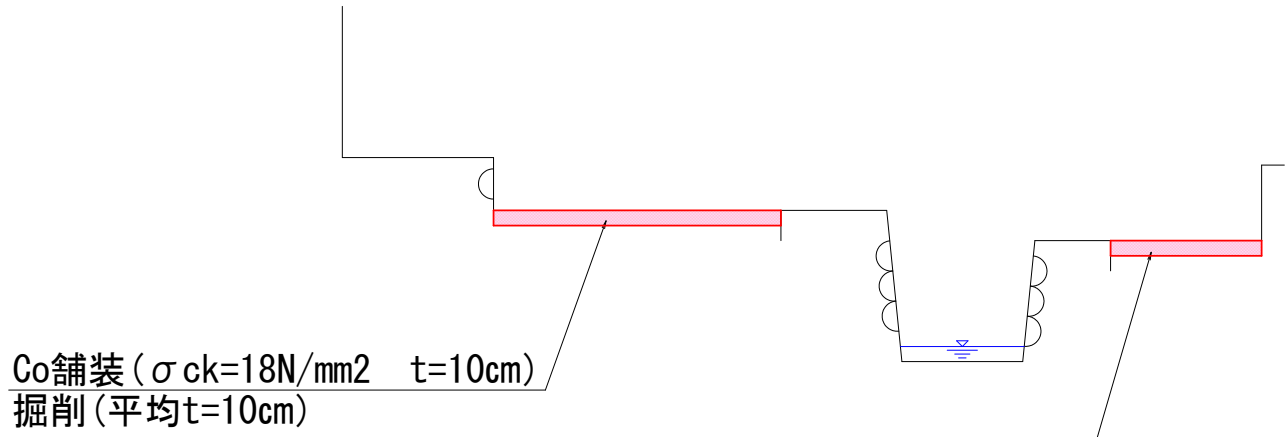
福 山 市



図面番号	3/3	縮尺	1 : 250
工事名	河川改修工事		
種別	平面図・横断面図（B工区）		
工事箇所	福山市光南町一丁目及び御門町一丁目地内		
河川 路線	名	道三川・7-1	
福 山 市			

設計年月 2025年7月

横断面 (B工区) S=1:50



参考図書

施工単価表

施工単価表

頁0 -0001

掘削

SPK24040001

單第0 -0001 表

土砂 現場制約あり

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 勞務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場單價構成比: 0.00%

標準単価：

6,214.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0002

人力運搬（運搬～取卸し）

SPK24040023

單第0 -0002 表

1

m3 当り

換算距離80m以下(60m超)

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

3,824.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0003

土砂等運搬

現場制約あり 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

機械構成比: 18.57%

SPK24040002

DID区間有り 距離6.0km以下(4.5km超)

労務構成比: 72.35%

材料構成比: 9.08%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0003 表

1

標準単価:

m3 当り

4,025.30000

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		18.57%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)			MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)		72.35%		運転手(一般)			RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油		9.08%		軽油パトロール給油			TTPC00013 TTPT00013
積算単価				積算単価			EP001
A=3 C=1 F=27	現場制約あり 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 距離6.0km以下(4.5km超)			B=7 D=2	人力 DID区間有り		

施工単価表

頁0 -0004

コンクリート舗装

V1000

單第0 -0004 表

$$\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$$

t=10cm

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0005

コンクリート
無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB
機械構成比: 4.55% 労務構成比: 21.17% 材料構成比: 74.28% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040153
コンクリートポンプ車打設

単第0 -0005 表
1
標準単価: m3 当り
26,946.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h	3.83%		コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h		MTPC00050 MTPT00050
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	13.57%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	2.78%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	2.67%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	1.72%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	73.51%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.77%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0006

コンクリート

SPK24040153

單第0 -0005 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB

コンクリートポンプ車打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.55% 勞務構成比:

21.17% 材料構成比: 74.28%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

26,946.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0007

インターロッキングブロック工(設置)

SS000115

單第0 -0006 表

直線配置

ブロック厚6cm 標準品 [規]100m²未滿

m2

当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0008

灯具交換

V2000

單第0 -0007 表

1 箇所 当り

備考

单第0-0008 表

[illegible]

施工単価表

頁0 -0009

照明器具取付工

S2603

單第0 -0008 表

10

台 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0010

高所作業車運転

S9352

單第0 -0009 表

トラック架装リフト・垂直昇降・プラットフォーム型

作業床高：13.2m

時間 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0011

インターロッキングブロック工(撤去取壊し) SS000119
とりこわし [規]100m2未満

單第0 -0010 表

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0012

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 18.57% 労務構成比: 72.35% 材料構成比: 9.08% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040151
DID区間有り 運搬距離8.0km以下(6.5km超)

単第0 -0011 表
1
標準単価: m3 当り
6,038.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	18.57%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.35%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=35 運搬距離8.0km以下(6.5km超)		

数量計算表

本 工 事 総 括 表

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5		計 算	計 上	
	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	数 量	摘 要
河川改修工事(道三川・7-1)								
	土工							
		掘削工						
			掘削	掘削 土砂 現場制約あり	m3	33.9	30	土工集計表
				人力運搬 80m以下	m3	33.9	30	土工集計表
		残土処理工						
			土砂等運搬	土砂等運搬 土砂	m3	33.9	30	土工集計表
			残土等処分	投棄料	m3	33.9	30	土工集計表
	舗装工							
		コンクリート舗装工						
			コンクリート舗装	コンクリート舗装 $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ $t=10\text{cm}$	m2	339.0	339	舗装工集計表
		ブロック舗装工						
			インターロッキングブロック舗装	インターロッキングブロック工（設置）	m2	17.9	18	舗装工集計表
	付属施設工							
		付属物工						
			照明設備	灯具交換	箇所	1.0	1	付属施設工集計表
	構造物撤去工							
		構造物取壊し工						
			コンクリート構造物取壊し	インターロッキングブロック工（撤去取壊し）	m2	17.9	18	構造物撤去工集計表
		運搬処理工						
			殻運搬	殻運搬	m3	1.1	1	構造物撤去工集計表
			殻処分	コンクリート塊受入費	t	2.6	3	構造物撤去工集計表

集 計 表

[illegible]

計第1-1表	Co舗装工数量計算表										
測点	距離	Co舗装									摘要
				平積							
左岸-1				199.0							B工区
右岸-1				35.0							B工区
右岸-2				14.0							B工区
右岸-3				13.0							B工区
右岸-4				14.0							B工区
右岸-5				64.0							B工区
小計				339.0							
合計				339.0							

計第1-2表	ブロック舗装工 数量計算表										
測 点	距 離	インターロッキングブロック舗装									摘 要
				平積							
左岸-1				17.9							A工区
小 計				17.9							
合 計				17.9							

計第2-1表	付属物工数量計算表										
測 点	距 離	灯具交換								摘 要	
				箇所							
B工区				1.0							
合 計				1.0							

